組合員数103,301人
支部数　947
読者数　66,016人
（5日現在）
〔連絡先〕☎03（5978）2751　FAX03（5978）2777
E-mail/honbu@nenkinsha-u.org
ホームページ/年金者組合と入力し検索して下さい。

年金者しんぶん

第396号　2022年12月15日（木）
（通巻第595号）
全日本年金者組合中央本部
〒170-0005東京都豊島区南大塚1-60-20天翔大塚駅前ビル
発行人　杉澤　隆宣　月刊1部100円（組合費に含む）
昭和57年6月30日第三種郵便物認可

年金裁判　大法廷での審理を

憲法判断求め署名提出

最高裁に上告　44都府県原告団

全日本年金者組合は2015年5月29日に「年金引き下げ」は憲法25条（生存権）、29条（財産権）、98条（条約、国際法規の遵守）および国際人権規約（社会権規約）に反する現在、高裁での不当判決に屈することなく、最高裁に上告しているのは、山梨、兵庫、福岡・佐賀事案、奈良、岩手、栃木、長野、宮城・秋田、岐阜、東京、長崎、滋賀、大阪、鹿児島、群馬、15都府県原告団です。

11月9日、年金者組合は、これらの上告をまとめ大法廷で審理するように求める最高裁要請行動を行いました。最高裁前と一斉提訴しました。44都道府県本部5297人原告という社会保障訴訟では歴史的な運動です。提訴から7年、「年金裁判」は最高裁でのたたかいとなりました。

には全国から52人が集まり、各地裁・高裁での経過を報告しあったのち、杉澤中央本部委員長、小部弁護団共同代表を先頭に代表10人が「大法廷での審理を求める」署名264団体、19582筆を提出し、要請しました。

午後2時から、エデュカス東京で報告集会を開催しました。

「大法廷での審理を」と最高裁要請行動に集まった全国の代表たち

東京高裁の控訴棄却の判決を井上英夫金沢大学名誉教授は「立法府への忖度判決」だと次のように批判しました。

立法府にそんたく　東京高裁判決を批判

東京高裁判決は、立法府に忖度し広範な裁量を認めた。自ら裁判・司法の独立、違憲立法審査権そして人権の砦としての使命を放棄したものと言わざるを得ない。

2016年、ハンセン病特別法定問題で最高裁は謝罪し、裁判官合同会議は、「国民の基本的人権を擁護するために柱となるべき立場」にあると明言し、最高裁長官も、「裁判においては、判断自体の適正さに止まらず、判断に至る理由が納得の得られる程度に示されているか、手続保障の観点から欠けるところはないか、質的な高さが求められる」とし、ハンセン病問題にとどまらず、「日本国憲法の基本理念である『法の支配』の理念の重要性と裁判所の職責の重さに改めて思いを致し、国民の信頼に応えていけるよう一層努力を続けていく」と誓ったことが、想起されるべきである。

金沢大学名誉教授
井上英夫氏

人権の砦としての使命放棄

人権の砦としての使命を果たし、法の支配を貫徹するためには、司法の独立を堅持し、行政府はもちろん立法府に対しても厳正に違憲審査権を行使すべきである。行政府の裁量権よりも立法府には広い裁量権があるなどという理屈を憲法そして国際人権条約は決して許してはいない。

東京高裁　ひどい判決　給付水準の低下追認

10月28日、東京高裁は東京の仲間たちの「年金引き下げ違憲訴訟」の控訴を棄却しました。判決は、「社会保障立法に当たっては国の財政事情を考慮することが必要であり……立法府の広い裁量にゆだねられている」、「憲法25条2項は社会保障等に関する給付水準の低下を禁止するものではなく……」とし、社会権規約には触れず、社会保障削減の自公政権の政策を追認するものでした。

私たちの声きいて！

国民年金では2人で何とか命をつなぐ状況、生きていける年金を実現してほしい。高齢者の自立は若い人たちの希望にもなると思う。（愛知）

◇　◇

医療費が倍になり、通院を減らしたら体調が悪化し、医学療法士さんから怒られてしまいました。政府の施策には人の立場に立って考えることが欠けていませんか（岐阜）

◇　◇

子どもに年金署名を頼んだら「お母さん年金下がったの」と聞かれました。このままどんどん下がったら子どもの受け取る年金が心配です。（愛知）

◇　◇

夫は国民年金だったので遺族年金がありません。私の年金と預金の取り崩しで生活しています。高齢になり一番の出費は医療費です。文化的な生活は夢物語です。（愛知）

◇　◇

軍事費より市民の生活を守ってください。自殺、貧困で子どもたちが犠牲になっています。我が子がリストラされて年金生活の老夫婦が子どもの生活を支えているケースも多いです。（愛知）

風雪

▼最近の東京・渋谷の名産をご存じだろうか。それは内閣総理大臣である。橋本龍太郎、安倍晋三、麻生太郎、そして岸田文雄。この26年間4人が渋谷区生まれである。

▽選挙区は岡山、山口、福岡、広島だが、4人とも父は衆議院議員。いうならば「江戸屋敷で生まれた若殿様」というわけだ。

▼「超一流の家系に生まれ、幼少期から帝王学を身につけていたからこそ、ゆるぎない国家観を持っていた真のエリートです」。櫻井よしこさんの安倍晋三元首相礼賛である。

▽たしかに超一流の家系に生まれたことは認めよう。「金儲け」についてであるが。安倍晋三元首相が敬慕してやまない岸信介元首相は「両岸」の異名をとった。利害で対立している両者に「いい顔」をしたからである。

▼「若殿様」礼賛の「文化人」は高額の講演料目当て。担いで回る地元政治業者は自分の利権確保のため。だまされまいぞ。